

## 平成 25 年度事業報告

本報告は、定款第 39 条に基づき監事の監査を受け平成 26 年 5 月 3 日の平成 26 年度第 1 回理事会にて承認を得ております。

### 公益社団法人日本栄養・食糧学会 (平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日) 事業報告

#### <概要>

平成 23 年 9 月 1 日の公益社団法人化から、約 1 年半が経過し、平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）も各事業をスタートさせた。5 月 24 日に社員総会を開催し、平成 24 年度決算書の件を決議するとともに、平成 25 年度事業計画の件、同年度収支予算計画の件等の報告を承認した。平成 24 年度事業報告書は 6 月 21 日内閣府に送付し、指摘・修正を経て提出を完了させた。

栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公 1 事業）として、以下を行った。中部支部の担当による第 67 回年次大会（愛知県名古屋市：主会場・名古屋大学、会頭・下村吉治名古屋大学大学院教授）は、2000 人の参加を得て、特別講演、国際シンポジウム、市民公開講座を含め、予定通り開催された。また、第 68 回年次大会については北海道支部担当（北海道札幌市・江別市：主会場・札幌市教育文化会館・酪農学園大学、会頭・原博北海道大学大学院教授）で準備が行われてきた。支部事業については、全支部において、相応しいテーマのもとに支部大会およびシンポジウム等を開催した。国際的活動については、本学会が主催する第 12 回アジア栄養学会議（12th ACN、平成 27 年 5 月に横浜市での開催）の組織委員会が中心となり、関係機関と協働して、会場、運営、プログラム、募金等の活動を精力的に進めた。また、第 22 回国際栄養学会議（22nd ICN、平成 33 年開催予定）については、日本学術会議 IUNS 分科会に協力し、日本栄養改善学会と共同で誘致活動を行い、グラナダ（スペイン）での第 20 回会議において開催された IUNS 総会の投票で東京での開催が決定した。

栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業（公 2 事業）においては、引き続き日本栄養・食糧学会誌を効率的な編集方針のもとに定期的に刊行（第 66 巻 2 号～6 号、第 67 巻 1 号）し、欧文誌 JNSV 誌刊行においても定期的に出版（Vol. 59-No. 2～No. 6、Vol. 60-No. 1）した。

理事会を中心に、公益法人としてのガバナンスの向上、会員サービスの向上に努め、利益相反（COI）については、前年度実施のパブリックコメントに寄せられた意見を参考に、利益相反委員会が利益相反指針並びにその細則の改訂素案を策定した。また、年次大会参加者の利便性向上の観点から、講演要旨集の Web 公開を実施し、新入学生会員の参加費負担を軽減する措置を講じた。

#### I 会員の動き

##### 1) 会員の状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

|      |            |
|------|------------|
| 名誉会員 | 40 名       |
| 終身会員 | 130 名      |
| 正会員  | 3182 名     |
| 学生会員 | 620 名      |
| 団体会員 | 200 件      |
| 賛助会員 | 63 件（75 口） |

##### 2) 平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）物故会員（敬称略）

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 名誉会員 | ： 福場 博保                             |
| 終身会員 | ： 田中 弘、渡辺 厚、斎藤 洋子、乙坂 ひで、井上 タツ、武藤 静子 |
| 正会員  | ： 金 順姫、池田 正毅、山下 政三、山本 正子            |

##### 3) 支部別会員数 平成 26 年 3 月 31 日付

| 会員種別<br>支部名 | 名誉会員     | 終身会員      | 正会員        | 学生会員       | 団体会員      | 賛助会員<br>[口 数] |
|-------------|----------|-----------|------------|------------|-----------|---------------|
| 北海道支部       | 0 (± 0)  | 4 (+ 1)   | 108 (-5)   | 27 (-19)   | 11 (± 0)  | 1[1] (± 0)    |
| 東北支部        | 1 (± 0)  | 6 (- 1)   | 176 (-4)   | 50 (- 8)   | 11 (- 2)  | 0[0] (± 0)    |
| 関東支部        | 21 (+ 1) | 51 (+ 1)  | 1225 (-15) | 201 (-66)  | 84 (- 6)  | 51[63] (+ 3)  |
| 中部支部        | 4 (± 0)  | 12 (± 0)  | 374 (-2)   | 74 (-32)   | 25 (+ 1)  | 3[3] (± 0)    |
| 近畿支部        | 6 (± 0)  | 39 (± 0)  | 674 (+20)  | 157 (-44)  | 31 (- 1)  | 6[6] (- 2)    |
| 中国・四国支部     | 2 (± 0)  | 8 (- 1)   | 305 (-17)  | 64 (-32)   | 25 (- 1)  | 2[2] (± 0)    |
| 九州・沖縄支部     | 5 (± 0)  | 10 (+ 1)  | 316 (-15)  | 47 (-17)   | 13 (± 0)  | 0[0] (± 0)    |
| 海外          | 1 (± 0)  | 0 (± 0)   | 4 (-4)     | 0 (± 0)    | 0 (± 0)   | 0[0] (± 0)    |
| 合計          | 40 (+ 1) | 130 (+ 1) | 3182 (-42) | 620 (-218) | 200 (- 9) | 63[75] (+ 1)  |

( ) 内は平成 25 年 3 月 31 日会員に対する増減を示す。(平成 26 年 3 月 31 日現在)

## II 各種事業活動の推進報告

### <栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公1）>

#### 1) 大会事業

(1) 第67回日本栄養・食糧学会大会の開催（会頭 下村 吉治 名古屋大学大学院教授）

平成25年5月24日（金）～26日（日）愛知県名古屋市

##### \*招待講演

「Licensing system for clinical dietitian in Korea」

Prof. Hyun-Kyung Moon  
(Department of Food and Nutrition Science,  
Dankook University, Korea)

「Nutrition transition in North African and Mediterranean regions」

Prof. Rekia Belahsen  
(Training and Research Unit on Nutrition &  
Food Sciences, Chouaib Doukkali University  
School of Sciences, Morocco)

##### \*特別講演

「脳内老化制御と抗酸化フードファクター」

大澤 俊彦（愛知学院大学）

「グルタミン酸シグナリングによる食事性タンパク質摂取の認知と

脳腸連関による消化吸収と生体恒常性の調節」

鳥居 邦夫（(株)鳥居食情報調節研究所）

##### \*教育講演

「がんの代謝システム制御：先端質量分析によるブレイクスルー」

末松 誠（慶応義塾大学）

「食品・外来異物に対する腸管の適応戦略」

清水 誠（東京大学大学院）

「日本のだしのおいしさと健康への戦略的活用」

伏木 亨（京都大学大学院）

「オートファジーの生理的意義と分子機構」

水島 昇（東京大学大学院）

「肥満症と食品機能」

河田 照雄（京都大学大学院）

「日本人にふさわしい糖尿病食事療法」

石田 均（杏林大学）

「コレステロール代謝調節の分子基盤-ノーベル賞受賞者から学んだ事-」

佐藤隆一郎（東京大学大学院）

「Role of the Pyruvate Dehydrogenase Kinases in Health and Disease」

Dr. Robert A. Harris  
(Indiana Univ. School of Medicine, USA)

##### \*国際シンポジウム

「High-fat diet-induced metabolic stress, bioactive compounds and tumor promotion」

Jung Han Yoon Park (Department of Food  
Science and Nutrition, Hallym University)

「Novel food ingredients to treat diabetes and obesity: opportunities and challenges」

Christiani Jeyakumar Henry (Singapore  
Institute for Clinical Sciences)

「Obesity and fat energy metabolism: strategies by lipid-sensing nuclear receptors」

Teruo Kawada (Graduate School of Agriculture,  
Kyoto University)

「Chitosan ameliorates the alterations in glucose metabolism in diabetic rat model」

Meng-Tsan Chiang (National Taiwan Ocean  
University)

\*シンポジウム 10 テーマ

\*サテライトシンポジウム 1 テーマ

\*市民公開講座 1 テーマ

一般講演 630 題

参加者数 1892 名（内 非会員 439 名）

#### (2) 支部事業

##### ①北海道支部

\*第43回日本栄養・食糧学会北海道支部大会

平成25年10月26日（土）北海道大学大学院農学研究院 W109 室

シンポジウム「組織の機能を支える細胞間クロストーク」

「骨格筋から分泌されるマイオカインの探索とそれら機能の推定」

眞鍋 康子（首都大学東京）

「筋肥大・再生における筋幹細胞・運動神経末端・マクロファージのコミュニケーションダイナミクス」

辰巳 隆一（九州大学大学院）

「転写因子 CREBH による肝臓を起点としたエネルギー代謝変化のメカニズム」

中川 嘉（筑波大学）

「酸化コレステロールの臓器間の違いと疾病バイオマーカーとしての可能性」

佐藤 匡央（九州大学大学院）

参加者数 52 名（内 非会員 19 名）

一般講演 12 題

②東北支部

\*第47回日本栄養・食糧学会東北支部大会

平成25年10月5日(土) カレッジプラザ(秋田市)

公開シンポジウム「高齢化社会の食品形態と栄養を考えるー摂食・嚥下困難への対応を中心にー」

「嚥下機能が低下したひとのための食形態とそのテクスチャー」 高橋 智子 (神奈川工科大学)

「栄養成分とその影響ー特に抗酸化物質と急性期疾患の予防・治療効果についてー」  
中村 強 (福岡女子大学)

「幸せな胃ろう(PEG)と不幸な胃ろうー地域連携が作る食べるための胃ろうー」  
吉野 浩之 (群馬大学)

参加者数 100名(内 非会員 30名)

一般講演 12題

③関東支部

\*第92回日本栄養・食糧学会関東支部大会

平成25年9月21日(土) 日本獣医生命科学大学第一校舎

シンポジウム「食品の嗜好性成分と生理機能性成分に関する研究の新展開」

「イノシン酸は食肉の熟成中および調理中の軟化をもたらす」 松石 昌典 (日本獣医生命科学大学)

「亜鉛プロトポルフィリンIXが発色剤無添加の非加熱食肉製品の色調に寄与する」  
若松 純一 (北海道大学)

「食品の“こく”と寄与因子」 西村 敏英 (日本獣医生命科学大学)

「メタボリックプロファイリングによるしょうゆの呈味性成分の解析」 志賀 一樹 (大阪大学大学院)

「カテキン類の脂質膜との相互作用」 中山 勉 (日本獣医生命科学大学)

「食品由来ペプチドがもたらす生理機能-コラーゲンペプチド摂取による血管保護作用」  
河口 友美 (日本ハム株式会社)

参加者数 46名(内 非会員 19名)

一般講演 6題

\*第16回脂質栄養シンポジウム

平成26年2月1日(土) お茶の水女子大学 大学講堂(徽音堂)

シンポジウム「脂肪酸とコレステロール研究の最前線~トランス脂肪酸と酸化コレステロールは安全なのか?~」

「最近のリノール酸と飽和脂肪酸摂取の研究」 板倉 弘重 (茨城キリスト教大学 名誉教授)

「最近のEPA・DHA摂取の研究」 矢澤 一良 (東京海洋大学)

「酸化コレステロールの摂取と最近の研究について」 長田 恭一 (明治大学)

「トランス脂肪酸の摂取と安全性について」 菅野 道廣 (九州大学 名誉教授)

参加者数 141名(内 非会員 109名)

\*第93回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム

平成26年3月1日(土) 東京農業大学

日本食品科学工学会関東支部と合同大会

シンポジウム「アミノ酸・ペプチド研究の最前線~栄養学・分子生物学・食品学の視点から~」

「インスリンシグナルとアミノ酸」 鈴木 司 (東京農業大学)

「非必須アミノ酸再考」 坂井 良成 (味の素株式会社)

「健康食品の開発研究」 渡辺 斉志 (サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社)

「コラーゲンペプチド由来ジペプチド(Pro-Hyp)によるマウスの骨・関節軟骨への作用」  
真野 博 (城西大学)

参加者数 246名(内 非会員 170名)

④中部支部

\*第65回日本栄養・食糧学会中部支部大会

平成25年11月30日(土) 名古屋大学 農学部

公開シンポジウム「薬学領域からの栄養・食糧学へのアプローチ」

「医薬品と食品との相互作用」 和田 政裕 (城西大学)

「効率的カテキンプローブ合成を基盤とする動態解析」 菅 敏幸 (静岡県立大学)

「高い脳神経疾患改善作用を示す新規2-デセン酸誘導体の開発」 古川 昭栄 (岐阜薬科大学)

「イン・シリコ創薬技術と栄養・食糧学研究 - Structure-Based Drug Design 手法の適用 -」  
広野 修一 (北里大学)

参加者数 55名(内 非会員 25名)

⑤近畿支部

\*第52回日本栄養・食糧学会近畿支部大会

平成25年10月26日(土) 滋賀県立大学

特別講演「代謝と疾患」

「トリプトファン代謝異常と疾患:アルツハイマー病とがん免疫抑制作用」 滝川 修 (国立長寿医療研究センター)

「酵素と感染症:タンパク質分解酵素によるインフルエンザ重症化機序」  
矢野 仁康 (滋賀県立大学)

参加者数 165名 (内 非会員 12名)

一般講演 58題

\*第4回栄養学を志す若手のためのフォーラム

平成26年3月3日(月) 京都女子大学

日本栄養改善学会近畿支部と共催

テーマ「至適タンパク質摂取量とは」

「タンパク質・アミノ酸栄養学研究の進展と課題」

桑波田雅士 (京都府立大学大学院)

「分岐鎖アミノ酸(BCAA)の栄養学—生理機能の多様性と至適必要量」

下村 吉治 (名古屋大学大学院)

参加者数 77名 (内 非会員 40名)

⑥中国・四国支部

\*公開講演会

平成25年8月30日(金) 大塚講堂(徳島市)

テーマ「温故知新の栄養学：欠乏・過剰、そして調和」

「臨床の栄養士のこれから」

安井 苑子 (徳島大学)

「私の生きる道～栄養士で大変だからおもしろい～」

黒川有美子 (高松赤十字病院)

「基礎と臨床を結ぶアミノ酸代謝の研究に携わった40年！」

木本眞順美 (岡山県立大学)

「進化と栄養—タンパク質栄養を中心に—」

岸 恭一 (徳島大学名誉教授)

参加者数 230名 (内 非会員 200名)

\*第46回日本栄養・食糧学会中国・四国大会

平成25年11月16日(土)～17日(日) 翠山荘、山口県立大学

特別講演「食品成分による健康保持」

「食品成分から発見された血管異常収縮の特効薬」

小林 誠 (愛媛大学)

「アブラナ科野菜の健康機能とその分子機構」

中村 宜督 (岡山大学大学院)

「食環境によるメタボリックシンドロームの予防・改善への試み」

永尾 晃治 (佐賀大学大学院)

参加者数 43名 (内 非会員 0名)

一般講演 20題

⑦九州・沖縄支部

\*第67回日本栄養・食糧学会九州・沖縄大会

平成25年10月18日(金)～19日(土) JR博多シティ、九州大学

日本食品科学工学会西日本支部と合同大会

公開市民フォーラム「食の安全と健康を考える」

「食の機能性を考える—緑茶の保健機能を例に」

立花 宏文 (九州大学大学院)

「共役脂肪酸の免疫調節作用」

山崎 正夫 (宮崎大学)

「動脈硬化予防におけるポリフェノールの役割」

近藤 和雄 (お茶の水女子大学大学院)

「食の安全を考える」

宮本 敬久 (九州大学大学院)

参加者数 156名 (内 非会員 84名)

一般講演 45題

## 2) 大会事業準備

(1) 第68回日本栄養・食糧学会大会の開催(会頭 原 博 北海道大学大学院教授)

平成26年5月30日(金)～6月1日(日) 北海道札幌市、江別市

\*特別講演(予定) 2題

\*教育講演(予定) 6題

\*シンポジウム(予定) 13テーマ

\*サテライトシンポジウム(予定) 1テーマ

\*市民公開講座(予定) 1テーマ

一般講演 663題

(2) 第69回日本栄養・食糧学会大会開催準備

平成27年5月14日(金)～5月18日(月) 神奈川県横浜市

12th ACN2015との合同開催に向け、関東支部(準備責任者 鈴木 和春 東京農業大学教授)が開催担当支部として準備を進めてきた。

(3) 第70回日本栄養・食糧学会大会開催準備

平成28年度の本大会の開催担当支部及び開催地が近畿支部で兵庫県西宮市において実施予定となった(第4回理事会1/25決議)。

大会準備責任者として、中野 長久 大阪女子短期大学教授が選任された(第4回理事会1/25決議)。

## 3) 表彰事業および助成・助成推薦事業

本事業は、各種授賞等選考委員会並びに学会活動強化委員会を通じ展開された。

(1) 第1回各種授賞等選考委員会(5/24)が開催され、事業方針・スケジュールを確認した。

(2) 第2回各種授賞等選考委員会(12/7)が開催され、功労賞2件、学会賞3件、奨励賞3件、栄養・食糧学基金 研究助成対象者2件、栄養・食糧学基金 国際交流助成対象者1件を推薦し理事会に上申した。他に委員会活動として、外部団体への学会長名での推薦1件を12月7日の各種授賞等選考委員会にて審査、5件をメール審査にて行った。

(3) 学会活動強化委員会活動としては、

- ① 学術企画の支援として学会活動強化費申請(4件)のメール審査を行い、修正後、再提出を求めたうえで全て承認した。
- ② 栄養・食糧学基金助成の予備審査を行い、各種授賞等選考委員会へ報告を行った。
- ③ 研究・開発事業の2テーマの期間延長申請をメール審査にて行い理事会に上申を行った。

(4) 平成25年度表彰授与式開催

① 平成25年度受賞者

|          |       |       |       |
|----------|-------|-------|-------|
| 功労賞(佐伯賞) | 小川 正  | 横越 英彦 |       |
| 学会賞      | 河田 照雄 | 佐藤隆一郎 | 鳥居 邦夫 |
| 奨励賞      | 近藤 春美 | 山崎 正夫 |       |

② 平成25年度栄養・食糧学基金研究助成者

|                |       |
|----------------|-------|
| 栄養・食糧学学術基金研究助成 | 望月 和樹 |
|----------------|-------|

(5) 平成26年度対象の各賞候補者の公募、栄養食糧学学術基金の助成対象者募集記事を学会誌4号に掲載した。学術基金 国際交流助成後期の募集をHP及びメールニュースに掲載した。

(6) 表彰事業の協賛のため5企業・団体へ依頼し応諾された。

(7) 下記外部団体からの研究褒賞候補者推薦依頼・研究助成募集の周知を図った。

① 研究褒賞候補者推薦依頼

|   |                          |
|---|--------------------------|
| 天野エンザイム(株)/酵素応用シンポジウム研究奨励賞                | (公財)安藤スポーツ・食文化振興財団/安藤百福賞 |
| (公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団/飯島藤十郎食品科学賞&飯島藤十郎食品技術賞 |                          |
| (公財)上原記念生命科学財団/上原賞                        | (公財)木原記念横浜生命科学財団/学術賞     |
| 慶應義塾医学振興基金/慶應医学賞                          | (公財)材料科学技術振興財団/山崎貞一賞     |
| (公財)食の新潟国際賞財団/食の新潟賞                       | (公財)杉浦地域医療振興財団/杉浦地域医療振興賞 |
| 第一生命保険株式会社/保健文化賞                          | 辻静雄料理研究所/辻静雄食文化賞         |
| (財)東京顕微鏡院/遠山椿吉記念、食と環境の科学賞                 | (公財)内藤記念科学振興財団/内藤記念科学振興賞 |
| (社)日本医師会/日本医師会医学賞・医学研究奨励賞                 | 日本学術会議/Harvey 賞          |
| (独)日本学術振興会/日本学術振興会賞・育志賞                   | 日本看護協会/ヘルシー・ソサイエティ賞      |
| 福井県小浜市/杉田玄白賞                              | (公財)三島海雲記念財団/三島海雲学術賞     |
| (公財)森永奉仕会/森永奉仕会賞                          |                          |

② 研究助成募集の周知

|                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| (公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団  | (財)医療経済研究・社会保険福祉協会      |
| (公財)浦上食品・食文化振興財団     | うま味研究会                  |
| (公財)エリザベス・アーノルド富士財団  | (独)科学技術振興機構             |
| (財)旗影会               | (財)キャノン財団               |
| 公益信託家政学研究助成基金        | (公財)サッポロ生物科学振興財団        |
| (財)住友生命健康財団          | (財)サンスター財団              |
| (財)杉浦地域医療振興財団        | (公財)ソルト・サイエンス研究財団       |
| (公財)タカノ農芸化学研究助成財団    | (公財)ダノン健康・栄養財団          |
| (社)中央味噌研究所           | (公財)東洋食品研究所             |
| (公財)内藤記念科学振興財団       | (社)日本医師会                |
| (公財)日中医学協会           | (公財)日本科学協会              |
| (公財)日本食品化学振興財団       | (公財)日本心臓財団              |
| (社)日本酪農乳業協会          | 農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課   |
| (公財)パブリックヘルスリサーチセンター | ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株) |
| (財)ファイザーヘルスリサーチ振興財団  | (公財)不二たん白質研究振興財団        |
| (財)ホクト生物科学振興財団       | (公財)本庄国際奨学財             |
| (公財)三島海雲記念財団         | (公財)森永奉仕会               |
| やざや食と健康研究所           | (公財)山崎香辛料振興財団           |
| (公財)山田科学振興財団         | (株)山田養蜂場                |
| (公財)ロッテ財団            |                         |

(8) 外部団体への推薦

① 公益財団法人三島海雲記念財団(三島海雲学術賞)

各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、2件を学会として推薦  
2件のうち1件三島海雲学術賞を受賞(3月5日受理)

② 公益財団法人木原記念財団横浜生命科学振興財団(木原記念財団学術賞)

- 各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1件を学会として推薦
- ③公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団（研究者の海外派遣援助費交付申請）  
各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1件を学会として推薦  
研究者の海外派遣援助費交付決定(3月11日受理)
- ④公益財団法人 森永奉仕会
- i) 平成24年度森永奉仕会研究奨励金受賞（平成25年7月3日受理）  
ii) 平成25年度森永奉仕会研究奨励金  
各種授賞等選考委員会にて審査の結果、1件を学会として推薦

(9) 研究活動の奨励

- 第67回大会時に下記関連学術集会を支援
- ①第46回油脂・コレステロール研究会の開催  
②第21回スポーツ栄養学研究会の開催  
③栄養学若手研究者の集いの開催  
④第12回 Hindgut Club Japan サテライトミーティングの開催  
⑤第7回カルノシン・アンセリン研究会の開催  
⑥How to publish your work in high impact journals の開催（アメリカ化学会協賛）

4) 栄養・食糧科学に関する研究・調査事業

本事業は、下記3テーマとも非常置委員会としてそれぞれの委員会で展開された。  
以下各テーマについて主な進捗を報告する。

(1) 栄養成分表示・栄養教育の検討

消費者庁の「食品表示一元化検討会」の報告書について議論。米国・カナダにおける食事摂取参照量の考え方の変化や栄養表示の歴史について確認検討。68回大会において、栄養成分表示・栄養教育に関するシンポジウムの開催を決定。栄養基準改定や新しく成立した食品表示法などについて議論した。

(2) 食品アミノ酸データベースの検討

新たな140食品についてデータを追加、その他のデータの確認・点検作業を行なった。  
結成当初の目的に達したので、平成25年度で終了することとなった。

(3) 栄養・食糧学用語に関する検討

用語辞典の第二版編集に向け、ワーキンググループにて作成中

5) 国際交流事業

本事業は、国際交流委員会及び12th ACN組織委員会を通じ展開された。

(1) 第67回大会で招聘講師による招待講演、及び国際シンポジウムを実施

(2) 第67回大会の海外シンポジスト

国際シンポジウムを企画し、海外シンポジスト2名を招聘

(3) 第12回アジア栄養学会議関係

- ①組織委員会 総務委員会を中心に大会運営、体制、会場、プログラム等準備活動を本格化  
②日本学術会議の共同主催を申請、内定通知を受け必要書類を作成し提出  
③募金活動の強化

(4) 第22回国際栄養学会議関係

20th ICN2013（グラナダ）会期中にIUNS総会が開催され、22nd ICN2021日本開催決定

(5) その他

- ①アメリカ栄養学会（ASN）との会談、来年度4月のExperimental Biology 2014にて日本の栄養学研究に関するシンポジウム共同開催決定、MOU締結予定。  
②20th ICN2013 IUNS総会において宮澤会長がIUNS council memberに選出された。  
③IUNS栄養学リーダーシップ育成国際ワークショップを2014年3月11日～13日に開催  
④FANSニュースレター提出

6) 倫理審査事業

本事業は、倫理審査委員会を通じ展開されている。

- (1) 倫理審査申請依頼（申請番号76番・77番・78番）に基づき倫理審査委員会を開催（4/3）、76番は対象外であったため返却、77番・78番は審査結果に基づき再提出を求め、付帯条件を付け承認

< 栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業（公2） >

1) 出版事業の推進

本事業に関しては、日本栄養・食糧学会誌編集委員会が担当するとともに、JNSV 刊行においては、日本ビタミン学会との共同編集として発刊した。これらの学術誌の発刊は、(財)学会誌刊行センターに委託している。

(1) 日本栄養・食糧学会誌 66 巻 2 号～6 号、67 巻 1 号

① 投稿状況

| 受付日         | 全投稿数 | 総説   | 報文   | 研究ノート   | 投稿数（うち採択数） |      |
|-------------|------|------|------|---------|------------|------|
|             |      |      |      |         | 資料         | 速報   |
| 2012 年 4 月  | 0    | 0    | 0    | 0       | 0          | 0    |
| 2012 年 5 月  | 3(3) | 0    | 1(1) | 1(1)    | 1(1)       | 0    |
| 2012 年 6 月  | 2(1) | 1(1) | 1(0) | 0       | 0          | 0    |
| 2012 年 7 月  | 4(3) | 1(1) | 2(1) | 1(1)    | 0          | 0    |
| 2012 年 8 月  | 5(5) | 2(2) | 2(2) | 1(1)    | 0          | 0    |
| 2012 年 9 月  | 5(3) | 1(1) | 3(2) | 0       | 1(0)       | 0    |
| 2012 年 10 月 | 5(3) | 1(1) | 1(0) | 3(2)    | 0          | 0    |
| 2012 年 11 月 | 1(1) | 0    | 0    | 0       | 1(1)       | 0    |
| 2012 年 12 月 | 2(1) | 0    | 1(0) | 1(1)    | 0          | 0    |
| 2013 年 1 月  | 5(2) | 0    | 4(1) | 0       | 0          | 1(1) |
| 2013 年 2 月  | 1(0) | 0    | 1(0) | 0       | 0          | 0    |
| 2013 年 3 月  | 4(1) | 0    | 2(0) | 2(1)    | 0          | 0    |
| 2013 年 4 月  | 0    | 0    | 0    | 0       | 0          | 0    |
| 2013 年 5 月  | 6(3) | 1(1) | 2(1) | 3(1)    | 0          | 0    |
| 2013 年 6 月  | 5(2) | 1(1) | 1(0) | 3(1) 注1 | 0          | 0    |
| 2013 年 7 月  | 2(2) | 0    | 2(2) | 0       | 0          | 0    |
| 2013 年 8 月  | 7(7) | 3(3) | 3(3) | 0       | 1(1) 注2    | 0    |
| 2013 年 9 月  | 2(2) | 0    | 1(1) | 1(1)    | 0          | 0    |
| 2013 年 10 月 | 2(2) | 1(1) | 1(1) | 0       | 0          | 0    |
| 2013 年 11 月 | 1(1) | 0    | 1(1) | 0       | 0          | 0    |
| 2013 年 12 月 | 0    | 0    | 0    | 0       | 0          | 0    |
| 2014 年 1 月  | 1    | 0    | 1    | 0       | 0          | 0    |
| 2014 年 2 月  | 2    | 1    | 1    | 0       | 0          | 0    |
| 2014 年 3 月  | 4    | 0    | 1    | 2       | 1          | 0    |
|             |      |      |      |         |            |      |
|             |      |      |      |         |            |      |

注 1) 3 報のうち 1 報は報文からの種別変更

注 2) 研究ノートからの種別変更

平均所要日数 掲載可：2012 年 4 月～2013 年 3 月：80 日、2013 年 4 月～2014 年 3 月：65 日  
掲載否：2012 年 4 月～2013 年 3 月：54 日、2013 年 4 月～2014 年 3 月：36 日

\*2012 年度 投稿論文 40 編  
採択率 62%（取り下げ除く）  
掲載可 23 編 掲載否 14 編  
取り下げ 3 編 審査中 0 編  
\*2013 年度 投稿論文 32 編  
採択率 80%（取り下げ及び審査中除く）  
掲載可 20 編 掲載否 5 編  
取り下げ 1 編 審査中 6 編

② 発行状況

| 巻号   | 総説 | 報文 | 研究ノート | 資料 | 速報 | 書評 | 計  |
|------|----|----|-------|----|----|----|----|
| 66-2 | 1  | 2  | 2     | 0  | 0  | 0  | 5  |
| 66-3 | 1  | 0  | 1     | 1  | 1  | 1  | 5  |
| 66-4 | 1  | 1  | 0     | 0  | 0  | 2  | 4  |
| 66-5 | 1  | 0  | 2     | 0  | 0  | 1  | 4  |
| 66-6 | 1  | 2  | 1     | 0  | 0  | 0  | 4  |
| 67-1 | 1  | 1  | 1     | 1  | 0  | 0  | 4  |
| 総計   | 6  | 6  | 7     | 2  | 1  | 4  | 26 |

③刊行状況

| 巻号   | 納本日    | 予定日    |
|------|--------|--------|
| 66-2 | 4月10日  | 4月10日  |
| 66-3 | 6月10日  | 6月10日  |
| 66-4 | 8月9日   | 8月10日  |
| 66-5 | 10月10日 | 10月10日 |
| 66-6 | 12月10日 | 12月10日 |
| 67-1 | 2月12日  | 2月10日  |

④編集委員会は5月24日と11月9日の2回開催した。

投稿論文を受け付けるとき、受け付けの段階で、倫理審査の有無をチェックすることになった。  
ヒトおよび動物の遺伝子の表現法をイタリック表示にすることを細則に記載することが決定された。

(2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV)

①編集状況

日本ビタミン学会との共同編集 Vol. 59-No. 2~No. 6, Vol. 60-No. 1の刊行

平成26年3月10日現在

| 理事会<br>資料提出日 | Vol | 年    | 分野別投稿数 |    |    |    |   |      | 分野別採択数 |    |    |   |   |      | 備考     |
|--------------|-----|------|--------|----|----|----|---|------|--------|----|----|---|---|------|--------|
|              |     |      | Total  | V  | N  | F  | R | Note | Total  | V  | N  | F | R | Note |        |
| 3月16日        | 59  | 2013 | 27     | 6  | 17 | 4  | 0 | 4    | 23     | 6  | 15 | 2 | 0 | 6    | 59-2まで |
| 5月23日        |     |      | 55     | 9  | 39 | 7  | 0 | 9    | 35     | 10 | 23 | 2 | 0 | 9    | 59-3まで |
| 8月3日         |     |      | 87     | 15 | 61 | 11 | 1 | 15   | 50     | 13 | 33 | 4 | 0 | 13   | 59-4まで |
| 10月19日       |     |      | 114    | 19 | 80 | 15 | 1 | 19   | 80     | 22 | 51 | 7 | 1 | 20   | 59-6まで |
| 1月25日        |     |      | 144    | 27 | 96 | 21 | 4 | 24   | 80     | 22 | 51 | 7 | 1 | 20   | 59-6まで |
| 3月21日        | 60  | 2014 | 32     | 6  | 18 | 8  | 1 | 7    | 20     | 6  | 12 | 2 | 0 | 3    | 60-2まで |

Total は、V, N, Fの合計。

| (各号の内訳) |   |    |   |   |      |  | 巻号   |
|---------|---|----|---|---|------|--|------|
| Total   | V | N  | F | R | Note |  |      |
| 12      | 3 | 8  | 1 | 0 | 3    |  | 59-2 |
| 12      | 4 | 8  | 0 | 0 | 3    |  | 59-3 |
| 15      | 3 | 10 | 2 | 0 | 4    |  | 59-4 |
| 14      | 3 | 10 | 1 | 0 | 2    |  | 59-5 |
| 16      | 6 | 8  | 2 | 1 | 5    |  | 59-6 |
| 10      | 3 | 7  | 0 | 0 | 1    |  | 60-1 |

V:ビタミン N:栄養 F:食品 R:総説

JNSV投稿内訳および結果

| Vol. | Year | Total<br>No.* | V   |     | N   |     | F   |     | R | Note |     | 年間<br>掲載数 | 頁   |
|------|------|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|------|-----|-----------|-----|
|      |      |               | 投稿数 | 掲載数 | 投稿数 | 掲載数 | 投稿数 | 掲載数 |   | 投稿数  | 掲載数 |           |     |
| 55   | 2009 | 165           | 23  | 10  | 112 | 56  | 30  | 12  | 1 | 28   | 16  | 78        | 538 |
| 56   | 2010 | 172           | 29  | 11  | 115 | 44  | 28  | 13  | 1 | 25   | 12  | 68        | 470 |
| 57   | 2011 | 167           | 28  | 8   | 104 | 49  | 35  | 8   | 2 | 24   | 10  | 65        | 460 |
| 58   | 2012 | 153           | 33  | 11  | 107 | 43  | 13  | 11  | 1 | 28   | 18  | 65        | 466 |
| 59   | 2013 | 144           | 27  | 22  | 96  | 51  | 21  | 7   | 4 | 24   | 20  | 80        | 614 |

\* V, N, Fの合計。

## 採 択 日 数

|                | 60日以内       | 90日以内       | 120日以内      | 180日以内      | 180日を<br>超える | 全採択数 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|------|
| 2008年<br>(採択数) | 19.2%<br>15 | 30.8%<br>24 | 17.9%<br>14 | 28.2%<br>22 | 3.8%<br>3    | 78   |
| 2009年<br>(採択数) | 29.9%<br>20 | 26.9%<br>18 | 13.4%<br>9  | 20.8%<br>14 | 9.0%<br>6    | 67   |
| 2010年<br>(採択数) | 23.3%<br>17 | 19.2%<br>14 | 17.8%<br>13 | 32.9%<br>24 | 6.8%<br>5    | 73   |
| 2011年<br>(採択数) | 17.9%<br>10 | 25.0%<br>14 | 25.0%<br>14 | 28.5%<br>16 | 3.6%<br>2    | 56   |
| 2012年<br>(採択数) | 26.1%<br>17 | 27.7%<br>18 | 20.0%<br>13 | 21.0%<br>24 | 5.2%<br>4    | 76   |

## 論 文 採 択 率

|       | 投稿数 | 可  | 《採択率》 | 否  | 取下げ | 他誌へ | 審査中 |
|-------|-----|----|-------|----|-----|-----|-----|
| 2008年 | 154 | 78 | 50.6% | 65 | 9   | 3   |     |
| 2009年 | 165 | 67 | 40.6% | 87 | 6   | 5   |     |
| 2010年 | 172 | 73 | 42.4% | 83 | 8   | 8   |     |
| 2011年 | 167 | 56 | 33.5% | 98 | 10  | 3   |     |
| 2012年 | 153 | 76 | 49.7% | 65 | 6   | 6   | 0   |

## 論文採択率（国内・海外内訳）

|       | 投稿数 |    | 可  |    | 採択率   |       | 否  |    | 取下げ |    | 他誌へ |    | 審査中 |    |
|-------|-----|----|----|----|-------|-------|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|
|       | 国内  | 海外 | 国内 | 海外 | 国内    | 海外    | 国内 | 海外 | 国内  | 海外 | 国内  | 海外 | 国内  | 海外 |
| 2011年 | 106 | 61 | 50 | 6  | 47.2% | 9.8%  | 49 | 49 | 5   | 5  | 2   | 1  | 0   | 0  |
| 2012年 | 105 | 48 | 62 | 14 | 59.0% | 29.2% | 35 | 30 | 5   | 1  | 3   | 3  | 0   | 0  |

②投稿数・掲載数ともに順調に推移。インパクトファクターが下降したが、採択日数がより短縮され投稿数や、インパクトファクターの向上が期待できる。

日本人の食事摂取基準の世界への発信を目的としたサプリメント号の食事摂取基準（英語版）を発行

③編集委員の交代（8名、うち3名は日本ビタミン学会推薦委員）

## (3) 学会監修出版物

「高齢者の食と栄養管理」 渡邊 孟、武田 英二、奥田 拓道（編） 建帛社

## 2) 広報事業

本事業は、広報委員会を通じ展開された。

## (1) 報道機関向け広報

①第67回大会開催にあたり、報道機関へプレスリリースを実施した。（平成25年5月10日）

②第68回大会開催にあたり、報道機関へ事前に主なテーマについての発表（平成26年5月9日）実施の準備

## (2) 会員向け情報の告知

学会内の動き、関連学術団体、関連機関（大学・官庁等）からの情報、依頼記事（募集・告知等）について、広報推進を行った。

①ホームページ管理業務委託業者を通じ、定期的に及び緊急的に情報を掲載

②会員向けメールマガジン栄食ニュースは1回/月のペースで発信

ホームページへの掲載の紹介及びタイムリーな記事掲載を行い、以下17号発信

2013-4（通算122号 4/10）、2013-5（123号 5/14）、2013-大会直前（臨時号 5/20）、2013-6（124号 6/10）、

2013-7（125号 7/10）、2013-8（126号 8/14）、2013-ICN2021誘致（特別号 8/14）、2013-9（127号 9/10）、

2013-ICN日本開催決定（特別号 9/27）、2013-代議員選挙投票受付（臨時号 9/30）、2013-学会誌発送停止（臨時号 10/2）、

2013-10（128号 10/10）、2013-11（129号 11/11）、2013-12（130号 12/10）、2014-1（131号、1/10）、2014-2（132号、

2/10）、2014-3（133号、3/12）

③国内学術団体からの事業関連の連絡・通知

\* 日本学術会議

日本学術会議発行メールニュース（No. 388～No. 442）の周知の実施

\* 日本医学会

### III 管理業務報告

#### (1) 内閣府からの通知・連絡対応

##### ①内閣府より

- \* 公認認定等委員会だより（その 21～その 28）受理
- \* 「公益法人会計基準適用についてのアンケート」（7/1 受理、7/26 回答）
- \* メール依頼「節電対策の取り組みについて」（5/21 受理、7/19HP 掲載）
- \* メール依頼「寄付収入に関する実態調査について」（9/10 受理、9/30 回答）
- \* メール通知「事業計画書等の提出」（3 か月前）の案内（1/1 受理）
- \* メール依頼「冬季節電に関するご協力のお願について」（11/29 受理）
- \* メール依頼「消費税率の引上げに伴う消費税の円滑かつ適正な転嫁について」（2/13 受理）
- \* メール通知「事業計画書等の提出」（1 か月前）の案内（3/1 受理）
- \* メール通知「事業計画書等の提出完了」（整理番号 1200156077）の案内（3/27 受理）

##### ②内閣府へ

- \* 平成 24 年度事業報告書等を Web 上で送信（6/21）、報告内容につき内閣府の指摘を受け、修正、提出完了（2/27）
- \* 税額控除団体申請書を Web 上で提出（11/26）、指定不可の電話通告を受（1/21）、内閣府に往訪し申請取り下げを申し出（2/4）
- \* 平成 26 年度事業計画書等を Web 上で送信（3/27）

#### (2) 文部科学省

- \* 平成 26 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術省及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について（5/20 受理、6 月上旬 HP 掲載、6/10 メールニュース配信、7/16 回答）
- \* 「第 3 回サイエンス・インカレ」の開催について（9/13 受理、10 月前半 HP 掲載）
- \* 平成 25 年度（第 54 回）科学技術週間について（依頼）（2/25 受理）

#### (3) 厚生労働省

- \* 【医薬品・医療機器安全性情報】No. 301～No. 311 の周知依頼
- \* 診療の補助における特定行為（案）と指定研修における領域・行為群（案）に関する意見募集案内（7/1 受理）
- \* 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の周知について（3/10 受理）

#### (4) 農林水産省

- \* 【Washoku JAPAN 通信】（2013 年 9 月配信号～2014. 2 月配信号&特別号）
- \* 日本食文化のユネスコ無形文化遺産化推進協議会の体制強化について（5/29 受理、5/29 回答）
- \* 日本食文化のユネスコ無形文化遺産化推進協議会\_農林水産省意見交換会のお知らせ（7/18 受理、7/19 回答）
- \* 日本食文化のユネスコ無形文化遺産化推進協議会より：協議会の名称変更等の協議会整備検討について（7/24 受理）
- \* 日本食文化応援レター（2014. 1. 7 配信号）
- \* 日本食文化応援レター（2014. 3. 26 配信号）

#### (5) 日本学術会議

- ① 日本学術会議発行メールニュース（No. 388～No. 442）の周知
- ② 生活科学系コンソーシアムへの参加
- ③ 日本学術会議会員及び連携会員の候補者に関する情報提供
- ④ Harvey 賞候補者推薦依頼周知

#### (6) 日本医学会

- ① [ibunka・ml] の周知
- ② 日本医学会だよりの掲載
- ③ 日本医学会に関するアンケートの回答
- ④ 日本医学会基礎部会・社会部会合同会議への出席
- ⑤ 日本医学雑誌編集者会議（平成 25 年 8 月 4 日）への出席
- ⑥ 日本医学会分科会利益相反会議（平成 25 年 11 月 15 日）への出席
- ⑦ 日本医学会・医学用語委員会（平成 25 年 12 月 4 日）への出席
- ⑧ 日本医学会定例評議員会（平成 26 年 2 月 19 日）への出席
- ⑨ 第 29 回日本医学会総会（2015 年 関西）の周知

#### (7) 関連団体との共催、協賛、後援の許可

- ・ 第 27 回国際ポリフェノール会議組織委員会「国際ポリフェノール会議 2014、名古屋」共催
- ・ 第 17 回嗅覚・味覚国際シンポジウム組織委員会「第 17 回嗅覚・味覚国際シンポジウム（ISOT2016）」後援
- ・ 日本食品・機械研究会「第 11 回高付加価値食品開発のためのフォーラム」協賛
- ・ 日本ポリフェノール学会「第 7 回日本ポリフェノール学会年次大会」後援

- ・公益財団法人不二たん白質研究財団「公開講演会『大豆のはたらき in 福岡一食を通して健やかな人生をー』」協賛
- ・株式会社博報堂「被災地支援活動『心の絆プロジェクト』」後援
- ・第5回国際O-CHA 学術会議実行委員会「第5回国際O-CHA 学術会議」後援
- ・日本キチン・キトサン学会「第10回アジア・太平洋キチン&キトサンシンポジウム・第27回日本キチン・キトサンシンポジウム」協賛
- ・公益社団法人 日本油化学会 「第13回基準油脂分析試験法セミナー」協賛
- ・ネスレ栄養科学会議 「食と生命のサイエンス・フォーラム～脳の認知機能に及ぼす栄養の役割」後援
- ・(社) 米穀安定供給確保支援機構「平成25年度「食育健康サミット」」後援
- ・湧永製菓株式会社 創菓研究所「2014 International Garlic Symposium」後援
- ・日本糖質学会「第33回日本糖質学会年会」共催
- ・(独) 国立健康・栄養研究所「アジア栄養ネットワークシンポジウム」後援
- ・国際カルノシン・アンセリニン学会2014 運営事務局「国際カルノシン・アンセリニン学会2014」後援
- ・食品ハイドロコロイド研究会「第25回食品ハイドロコロイドシンポジウム」協賛
- ・食品ハイドロコロイド研究会「食品ハイドロコロイドセミナー2014」協賛
- ・(公社)日本油化学会関東支部「平成26年度第1回油化学セミナー」協賛
- ・日本キチン・キトサン学会「第28回キチン・キトサンシンポジウム」協賛
- ・公益社団法人ダノン健康栄養財団「第16回ダノン健康栄養フォーラム」後援
- ・日本アミノ酸学会「第4回産官学連携シンポジウム」協賛

#### (8) 利益相反 (COI) 関連

前年度実施のパブリックコメントに寄せられた意見を参考に、本学会に相応しい利益相反の体制を構築すべく、利益相反 (COI)委員会が利益相反指針並びにその細則の改訂素案を策定し、理事会に報告。新年度に論議し、進展を図ることとした。

## IV 総会、理事会、等の開催状況

### (1) 社員総会

平成25年 5月24日 (金) 9:30～10:30 名古屋大学 東山キャンパス 豊田講堂

### (2) 理事会

平成25年 5月23日 (木) 15:00～17:30 名古屋大学 東山キャンパス 豊田講堂

平成25年 8月3日 (土) 14:30～18:00 お茶の水女子大学

平成25年 10月19日 (土) 13:30～15:30 お茶の水女子大学

平成26年 1月25日 (土) 13:30～17:00 お茶の水女子大学

平成26年 3月21日 (金) 13:30～16:30 お茶の水女子大学

### (3) 臨時理事会

平成25年 4月27日 (土) 13:30～15:00 お茶の水女子大学

### (4) 業務執行理事打合せ

平成25年 7月13日 (土) 13:00～15:00 お茶の水女子大学

平成25年 9月28日 (土) 13:30～16:00 お茶の水女子大学

平成26年 1月11日 (土) 13:30～16:30 お茶の水女子大学

平成26年 3月8日 (土) 10:00～13:30 お茶の水女子大学

### (5) 名誉会員・顧問懇談会

平成25年 4月14日 (土) 11:00～13:00 茗溪会館

### (6) 名誉会員・終身会員推薦委員会

平成26年 1月11日 (土) 13:50～14:10 お茶の水女子大学

平成26年 3月8日 (土) 10:50～10:55 お茶の水女子大学

### (7) 日本栄養・食糧学会あり方検討委員会

平成25年 7月13日 (土) 10:00～12:00 お茶の水女子大学